



チューリップだより

No.4

「 すすんで学ぶ巣本っ子
も 萌える活動育成協
と ともに歩む公民館 」

=巣本小学校便り=
五泉市立巣本小学校
H29. 7. 5

「夢を創造する」

校長 石田 雄介

巣本小学校の子どもたちは、自分の将来にどんな夢をもっているのでしょうか。
7月の全校朝会で、私は子どもたちに次のような話をしました。

今日は「夢」の話をします。

先ごろ話題になった「ある人」のことを調べてみました。

その人には、小さい頃からアイドルになりたいという「夢」がありました。

そして100以上のオーディションを受けてきたそうです。でも、落ち続けました。

やがて、そんな努力を見ていた人がいて、この人はあるアイドルグループのドラフト会議で指名を受け、ようやくアイドルになることができました。

しかし、その年の総選挙では95位。自分の努力が足りないと、この人は一年間ずっとファンを大切にし、心を込めて活動を続けたそうです。

その結果、今年の総選挙で第5位となり、全ての人へ感謝の気持ちを伝えていました。

…その人とは、NGT48の荻野由佳さんです。

変顔が得意でピザが好きな、本当にごく普通の、どこにでもいそうな女の子です。

では、なぜ荻野さんはアイドルになるという自分の夢を叶えられたのでしょうか。

皆さんは、なぜだと思いますか？

…私は、「絶対にあきらめなかったから」だと思います。

どんなに審査に受からなくても、自分の夢を叶えようとあきらめずに挑戦を続けた。

そこにすごさがあります。

荻野さんは、「努力は必ず報われる」という言葉を信じていたそうです。

その言葉通り実際に努力を続け、絶対に自分の夢をあきらめなかったのですね。

皆さんには、「自分の夢」がありますか。

夢がある人は、あきらめずに、叶える努力を続けてください。

まだ見つからない人は、自分はどんなことが好きなのかなと考え、

夢を見つける楽しさを味わってください。

夢は見るだけでなく、叶えるものなのです。

どの子どもにも良さ・自分らしさがあります。それを生かせる自分の夢を見つけ、叶えようと努力を続けていける子に育てたいものです。夢を創造し、子どもたちの希望であふれる学校を築くべく職員一同努力します。どうぞお力添えをお願いいたします。

「ネットトラブル予防教室」を実施



５・６年生と保護者の皆様を対象に行いました。県警本部と安全課の方を講師にお招きし、親子で学びました。子どもたちの真剣な眼差しに、講師の皆さんも圧倒されていました。家庭で話し合い、ルールを決める大切さを確認しました。

スマイル班(異学年縦割り班)で様々な活動を展開中！



たすきをかけて あいさつ隊が行く！
～ハイタッチで「こんにちは！」～



何をするか相談して 交流遊び
～仲良く楽しく遊ぼう～

スマイル班の魅力。それは、１年から６年までの異学年の子どもたちが、まるで兄弟姉妹のように仲良く力を合わせて活動するところにあります。子どもたちは、**小さな縦社会**の中で社会性を学び、コミュニケーション能力を高めていきます。大人が諭して教えるよりも、多くの学びがあるのです。子ども同士の力ってすばらしいですね。

大切な命の話

テレビや新聞の報道をご覧になられましたように、新発田市で中学2年生の自殺という本当に悲しく痛ましい出来事が起きてしまいました。まだ13才です。命があれば、困難はあってもきっと輝かすことができたはずの未来です。本当に残念ではありません。

私は命の大切さについてあらためて子どもたちに考えてほしくて、6月27日に急遽 全校集会を行いました。

*** 以下、全校の子どもたちに私がした話です。 ***

清掃の時間をなしにして、皆さんに集まってもらったのには訳があります。

新聞やテレビのニュースでもありましたが、中学生が自分で自分の命を失くすという大変悲しいできごとがありました。私は、そのような事が巣本小の皆さんに絶対にあってはならない、命を大切にしてほしいと考え、全校の皆さんに集まってもらいました。私の話を聞いてください。

人にはそれぞれ大切なものがあります。その中でもみんなが持っていて一番大切なものは何だと思いませんか。（「命！」という子どもの反応）そうです。命です。ただ一つしかない「命」という宝物は、何よりも大切です。

昨日、テレビで小林麻央さんという女性がお亡くなりになったことの特集をしていました。麻央さんはガンという病気になりましたが、決してあきらめることなく、治ると信じて病気と闘っていました。旦那さんは歌舞伎役者の市川海老蔵さんですが、麻央さんを支えて一緒に頑張っていたそうです。そして、「生きる」ことを最後の最後まであきらめずに命を全うしたのです。「生きること」「生き抜くこと」というのはすばらしいことなのです。

でも今回、近くの町で、中学生がその大切な命を自分で絶つという、たいへん悲しく残念なできごとが起こってしまいました。どんなに辛いことがあったのでしょうか。生きていられないほど辛いことってどんなことだったのでしょうか。…いじめられたのでしょうか。暴力を受けたのでしょうか。

でも。それでも。それでも、生きていてほしかった。どんなに辛くても生きていてほしかった。ゲームではないんです。失くした命は元へもどらないのです。また、どれだけの人が悲しむことでしょう。あなたの命は、あなただけのものではないのです。

皆さんは、辛いことや嫌なことがありますか。あるいは、友達に辛い思いや嫌な思いをさせていませんか。

本当に困っている時、一人で悩まないでください。命はリセットできません。かけがえのないただ一つのものであります。自分の命、友達の命を大切に大切にしてください。

決してあってはならないことですが、もしも、すごくすごく辛いことや嫌なことがあった時は、どうしたら良いと思いますか。これが皆さんに考えてほしい1つ目です。2つ目。辛い思いや嫌な思いをする人が1人もいないようにするには、どんなクラスにしたら良いと思いますか。

このことについて、このあと、自分の教室でみんなで話し合ってみてください。皆さん、「生きること・命」を大切にしてください。私は皆さんを信じています。

～～1年生には1年生なりに、6年生には6年生なりに、思いが伝わってほしいと願いました。子どもたちはしっかりと私の目を見て聴き、静かに教室へ戻りました。